

富士川町の歴史文化資料

富士川町立図書館は、昨年7月15日新たな読書環境の施設として、富士川地方合同庁舎1階フロアに開館しました。本町はかつて甲斐国の流通の拠点として発展した富士川舟運の歴史があります。高瀬舟をアイコンにした地域資料コーナーには、富士川や舟運に関する資料のほか、昨年オープンした富士川町歴史文化館で紹介されている町ゆかりの人物、石橋湛山・熊王徳平・望月百合子などの資料、また、町出身の作家の江宮隆之氏・神永学氏・保坂和志氏や映画監督の矢崎仁司氏に関する資料も収集をしています。様々な伝統や文化が息づいている富士川町の貴重な資料をご覧ください。

(富士川町立図書館 長谷川大)

富士川町立図書館 編



図書館ボランティアの日常から

図書館ボランティアの日常から



Vol.11 今年度からの協力員さんにインタビューしました!



学生の頃図書委員をしていたせいか、図書館の居心地はもともと好きなのですが、退職後、地元へ何か貢献したいと思っていた時にこちらの募集を見つけました。実際に本を排架してみると意外と体力がいる作業。特に絵本の棚は低いので、足腰のスクワットになります。また、贈りたい本の市のスタッフをしたり、他のボランティアさんと話したりと本を通して交流ができるのも楽しいですね。

案内・書架整理分野担当 材津裕さん

(図書館協力員担当 三森)

Information

2024年度上半期のイベント

5月19日(日) 外国語絵本の読み聞かせ

英語に限らず、さまざまな国のことばで絵本の読み聞かせします。外国語の手遊び歌や、季節の歌も一緒に楽しめます。ぜひお気軽にご参加ください。

6月22日(土) かいぶらりシチズンカレッジ 食育セミナー

「食でつくる日常～食育を正しく学びましょう!～」をテーマに、山梨秀峰調理専門学校講師の方にご協力いただき、栄養や調理方法等をお伝えします。

ジッポからのひとこと便り

図書館での「出納」とは何のことだろう?君が読みたい本を、司書さんが書庫等から出して提供することだよ。お目当ての本の場所をHPの蔵書検索や館内の検索端末で調べて、出納してもらおう!地下の書庫からブックリフトで「君の本」が上がって来るよ。試してみてね!

当館キャラクター 本探偵 ジッポ・ホームズ一世



YAMANASHI
PREFECTURAL
LIBRARY

山梨県立図書館報
155
2024.4.1 発行

世界のことばで文学を味わってみませんか 外国語図書を紹介

当館では、様々な国の言語で書かれた外国語図書もご利用いただけます。英語を中心に、中国語、韓国・朝鮮語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語など、幅広く所蔵しています。日本の小説の翻訳本や日本文化を紹介した本、1階の児童資料コーナーには各国の絵本を集めたコレクションもあります。

外国語図書は本文と同じ言語でデータを登録しています。タイトルや著者名などの基本情報を入力する際も、時間をかけて作業を行っています。また、検索しやすいように、日本語版のタイトルや受賞情報などのデータも登録しています。さらに、英語以外の図書の背には案内シールをつけ、何語の図書が分かるように工夫しています。このような作業を経て、皆様にご利用いただけるようになります。

どのような言語の図書があるか、ぜひ外国語図書のコーナーをご覧ください。日本語の原書と他言語の図書を見比べ、どのように翻訳されているのか見てみるのも面白そうです。

当館の外国語図書をどうぞご活用ください。(資料担当 今村)

CLOSE-UP①

「かがみの孤城」辻村深月/著 ポプラ社2017.5(一番左)。続いてイタリア、フランス、韓国で翻訳された同書。国によって個性豊かな装丁が興味深いです。

CLOSE-UP②

外国語の絵本は児童資料コーナー奥の壁一面に並べられています。英語、韓国語、中国語をはじめ25か国の言語の絵本を所蔵しています。

この本が好き! 図書館スタッフおすすめの1冊

『こまったさんのコロッケ』
寺村輝夫/さく あかね書房 1987.12
大人になっても大切な1冊

山梨県立図書館 企画振興担当 金子ひろ美

テンポよく読み進めることができる「こまったさん」シリーズ。小学生の私が夢中になった本です。困ったことがあると口にする「こまったわ。」のセリフ、こまったさんを取り巻く人(物)たちの奏でる音楽。読書をしているのにリズムを感じる、不思議な魅力に夢中になったことを今でも覚えています。書いてある情報以上のことを本から読み取ることができるという経験を初めてさせてくれたのもこの本だったと思います。大人になった今、あらためて読み返すと毎日の料理が単なる作業ではなく別のものに思え、私にとって大切な1冊です。

サッカーの試合に参加したこまったさん。しかし飛んでくるサッカーボールはじゃがいもやたまねぎで……。楽しくコロッケの作り方がわかる食の児童書。

め みみ て
目で 耳で 手で
さまざまなかたちで
読書を
どくしょ
読書バリアフリー
しょうかい
の紹介

山梨県立図書館の「障害者サービス」は、本そのままの形では読書するのが難しい方へのサービスです。本の代読や録音図書の出、点字やデージー※データのダウンロード等のサービスがあります。

障害者サービス登録をすると、デージー再生機や音声読み上げ装置、点字プリンター等の機器を使うこともできます。なお、2階閲覧席にある拡大読書器はどなたでも使えます。詳しくはお問い合わせください。当館ホームページにも案内が載っています (<https://www.lib.pref.yamanashi.jp/handicapped/>)。※デージー:デジタル録音図書の記録方式 (調査サービス担当 大平)



さまざまな本

だいかつじほん
大活字本
内容はそのままに文字や行間を大きくし、読みやすいフォントで組み直した本です。

てんじ としょ
点字つき図書
点字と墨字で読める本。絵の上に樹脂インクで隆起印刷を施し、感触で絵が楽しめる絵本も。

ぬのえほん
布絵本
絵をボタンで留めたり、ひもを通して遊んだり、触りながら楽しんで読むことができます。

としょ
デージー図書
視覚障害などで活字の読みが困難な人のためのデジタル録音図書の国際標準規格。CDに録音された音声で読書を楽しめます。対象者へは無料の郵送貸出も行っています。

LLブック
ピクトグラムや写真、図を使って理解を助け、やさしい言葉で分かりやすく書かれた本です。

さかな
魚の絵本

機器いろいろ

さいせいき
デージー再生機
ボタンを押しながら本をめくると同時に耳から読むことができ、音声の速さも変えることができます。文字だけでなく、写真や図の説明も読み上げてくれるものもあります。

おんせいよ あ そうち
音声読み上げ装置
原稿台に載せた本や雑誌に印刷された活字を認識し、音声で読み上げます。パソコン用のモニターをつなげると、画面に文字を大きく表示できる機能もあります。

てんじ
点字プリンター
パソコンで文字を入力した後プリンターに接続すると、自動点訳ソフトを使って点字の文書が印刷できます。

かくだいでくしょき
拡大読書器
カメラで撮影した映像を画面に表示して、文字や画像を拡大したり白黒反転して見ることができる、見えづらい方への読書支援機器です。

だいでく
代読サービス
毎週金曜日の午後1時から3時(お一人30分まで)、当館の本や雑誌を音訳ボランティアがお読みするサービスです。

たな
りんごの棚
子ども用の「バリアフリー図書」コーナーです。紙に書かれた文字を読むことが難しい子どもが読めるように工夫された、さまざまなタイプの本があります。

としょかん
サピエ図書館
目で読むのが困難な方向けの電子図書館です。30万タイトル以上の録音・点字図書を利用できます。 (<https://www.sapie.or.jp>)

山梨県立図書館での研修を終えて

静岡県立中央図書館の原島といいます。この度長期研修として1か月間、山梨県立図書館で様々なことを学ばせていただきました。甲府駅前という立地、様々なIC機器の導入、交流エリアの運営等、新しい図書館での研修は本当に毎日が新鮮で、驚きと発見がたくさんありました。また華やかな図書館の裏にある、職員の方々の仕事に対する真摯な姿勢に、私自身もたくさんの刺激をいただくことができました。

短い期間ではありましたが、山梨県や山梨県立図書館の魅力をたくさん知ることができた1か月になりました。この縁を大切に、お隣の県の図書館同士としてこれからも一緒に図書館を盛り上げていけたら嬉しいです。ありがとうございました。

静岡県立中央図書館
原島 勇太

甲州市立
勝沼図書館
なども見学

静岡県立
中央図書館の紹介
と意見交換会

県図書TOPICS

TOPIC1
宮部みゆき氏と
金田一秀穂館長との
トークショー

「言葉とミステリーの楽しみ」をテーマにしたトークショーを開催しました。宮部氏の新刊『ぼんぼん彩句』にちなみ、俳句をもとにした執筆のきっかけや、俳句仲間の飛び入り参加による制作の裏話で盛り上がりました。ミステリー・SF・妖怪の話題を中心に金田一館長のユーモアのある進行による楽しいトークショーとなりました。(企画振興担当 赤池)

TOPIC2
第36回
「山梨県図書館大会」を
開催しました

11月30日(木)、市川三郷町生涯学習センターにおいて「集う場としての図書館」をテーマに開催しました。絵本作家の鈴木まもる氏による記念講演の後、2つの分科会では、いかにして図書館に足を運んでもらうかについて考えました。237名と多くの皆様にご参加いただきました。(企画振興担当 大窪)

TOPIC3
山梨偏愛Bigかるた大会

県民の日を祝してTV番組から誕生した「山梨偏愛かるた」大会を番組でおなじみの三浦実夏アナウンサーをお招きして開催しました。山梨独特の文化・風習が凝縮された「山梨あるある」盛りだくさんの郷土愛溢れるイベントを大人から子どもまで広く楽しんでいただきました。(指定管理者きらっとやまなし共同事業体 野村)

TOPIC4
おんがくかいぶらり
バリアフリーライブ

肢体不自由、知的障害を持つ方のユニットやソロ、ご家族による演奏会を開催しました。クラシックからポップス、オリジナルソングまで、クリスマスにふさわしい楽曲で揃え、歌やピアノ、ハーブ、ギター、手話のパフォーマンスをお楽しみいただきました。音楽を奏でることの喜びと楽しさを満喫した演奏会となりました。(企画振興担当 赤池)

テーマ展示
の報告

お金を学ぶ
令和5年12月8日～令和6年2月12日

1973年に為替レートが固定相場制から変動相場制に移行して50年が経ちました。2024年には、7月前半をめどに新紙幣の発行が始まる予定です。情報サテライト1では、お金の基本がわかる本、iDeCo・NISAなどの資産運用や、お金の歴史に関する本、新紙幣に登場する偉人に関する本など、120冊を展示しました。お金についての関心が高まっている中、多くの方にご覧いただきました。展示資料のリストは当館のホームページに掲載されていますので、ご活用ください。(調査サービス担当 有野)

『12歳の少女が見つけたお金のしくみ 小学6年生がやさしく解き明かした経済学の基本』 泉 美智子/著 宝島社 2020.6

『渋沢栄一を知る事典』 渋沢栄一記念財団/編 東京堂出版 2012.10

『¥の歴史学 貨幣に秘められた謎を解く』 三上隆三/著 東洋経済新報社 2001.9